

これからの活動予定

皆さんの参加をお待ちしています！

各行事に関するお問い合わせは

認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷 TEL:077-583-8686 まで

2015年度 行事予定 (日程、内容は変更になることがあります)

・目田川モデル河川作業日(毎月第3土曜9時より)・河川水質調査(2月第2土曜日)

行事名	開催日	備考
2016 (第 13 回) 守山ほたるパーク&ウォーク設立会	平成 28 年 1 月 20 日 (水)	会場：守山会館 開催時間：19:30 ~ 21:00
第7回 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦	平成 28 年 3 月 13 日 (日)	船や陸からの、清掃とオオバナミズキンバイ除去作業
水辺の楽校(春編)	平成 28 年 3 月 26 日 (土)	会場：目田川河川公園 水辺の春さがし・ホタルの幼虫の放流 ミニランチなど

川づくりフォーラム 開催のお知らせ

テーマ：里中川から赤野井湾へ

～ 河川・赤野井湾・琵琶湖のゴミを考える ～

◆基調講演◆

『保津川の自然・文化の魅力を高める環境保全活動』

～観光からの視点～

講師：プロジェクト保津川副代表 豊田 知八

日時 2016 年 1 月 17 日(日)

13:00～16:00

場所：守山市コミュニティー

防災センター研修室

(北消防署)

参加費：無料 (定員60名)

内容：基調講演

活動報告

パネル発表・展示

皆さまお誘い合わせ
のうえ、どしどし
ご参加下さい！



目田川でのゴミ拾いの様子

どうなの？赤野井湾の水環境

赤野井湾再生プロジェクト学習会を担当

11 月 8 日 (日) 赤野井湾再生プロジェクトで、大久保卓也(滋賀県立大学環境科学部)教授と小松直樹(滋賀県琵琶湖政策課)課長をお招きし、『琵琶湖の水質や暮らしから赤野井湾の再生を考える』をテーマで学習会を開催しました。赤野井湾の抱える問題を、データを示しながらの講師お二人のご講演は、赤野井湾の再生に興味を持って聴講した約 50 名の参加者には、どちらも分かりやすく興味深いものでした。その後の秋山道雄(赤野井湾再生プロジェクト)会長の司会で行われた鼎談では、講師への質問が相次ぎ、予定時間を過ぎても、収まらないほどの盛り上がりで終えることができました。当日お手伝い下さった皆さま、ありがとうございました。



話題提供をして下さった大久保先生

しじみのひとりごと

正月四日は、仕事始めとして、官庁などが動きを開始する日である。旧臘(キュウロウ：昨年の十二月)二十八日は仕事納めとして、従来は一斉に仕事をおえていたものである。旧暦は三十日であるから二日前に官庁の役人は、それぞれの里に帰って四方拝(一月一日に行われる宮廷行事)の準備と人々の指導を行うべしという明治新政府の方針であった。四方拝がなくなっても仕事納めと云う日は生きており、太陽暦になってからも二十八日はそのまま生きているのである。四方拝を済ませて官吏が仕事に就く日が、正月四日であった。明治四年からの仕来りである。(H.T)

2016 年 1 月 1 日発行 部数 1500 部

発行 認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷

理事長 長尾 是史

編集 環境情報発信事業部会

住所 守山市勝部五丁目10番地25号

TEL 077-583-8686(有線 583-8686)

FAX 077-558-5007

E-mail houjyouosato@lake-biwa.net

URL http://www.lake-biwa.net/akanai/



豊穰の郷だより

ほうじょうのさと

人と水環境のネットワーク

Vol.74

新年あけましておめでとうございます

あっという間に一年が過ぎ、そのスピードが年々早くなっているような気がしてなりません。その一因が仕事に追い回されているためだとすると、今年は追い回すくらいになりたいと思います。

振り返りますと、去年は、企業からの表彰、助成が多く頂いた年でした。春には、「滋賀 CSR 経営大賞」を滋賀経済同友会から、秋には「いきものにぎわい市民活動大賞」を(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団から、冬には NPO サポートファンドとして「組織診断フェーズ」を Panasonic から内定を頂くことができました。

どれもこれも、会員の皆様が、日ごろから水環境の様々な活動を積み上げてこられた賜物です。

いよいよ今年、豊穰の郷が生まれて 20 年目となります。20 年の活動を振り返り、成果と課題を明確にして、次世代に託せる輝かしい年にしたいと思います。皆様のお力添えをお願いして、年頭の挨拶とさせていただきます。

2016 年も赤野井湾の再生をめざしてがんばりましょう！

理事長 長尾是史・理事・職員一同



「いきものにぎわい市民活動大賞」を受賞して



いきものにぎわい市民活動記念写真

まさか、日本の環境団体の 5 団体の表彰に、びわこ豊穰の郷が抜擢されるとは思っていませんでした。この 1 つ目の幸運にもまして、ラッキーだった裏話を紹介します。

この表彰式と併催された「GEA 国際会議 2015 (気候変動対策と持続可能社会の実現に向けて)」の開会式と基調講演を拝聴できる機会に恵まれ、前から 5 列目という晴れがましい席に案内されました。緊張して着席していると、目の前の壇上で、皇太子さま、雅子さまがお言葉を述べられました。その後お二人は、基調講演を聞くために、なんと！私のすぐ傍に着席されたのです。(2 つ目のラッキー！) こんなにもお近くで拝見できるなんて！興奮も冷めやらぬ内

に、認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷の紹介があり、立ち上がった私は会場から注目を浴びました。その後の記念写真撮影で、3 つ目のラッキーが訪れました。席順で、指定されたのは、何と丸川環境大臣の横だったのです！さらに、緊張で金縛り状態の私に「私も兵庫生まれで小さいとき琵琶湖でよく泳ぎました。琵琶湖の環境を守るためご苦労さまです。」と大臣から声をかけて下さったのです。「こちらこそ、琵琶湖保全再生法をありがとうございます。」とお礼を言うと「私も勉強しますね」と和気あいあいと話が弾み、写真屋さんから注意を受けるほどでした。理事長として、すごくおいしい思いをさせて頂いた次第です。このような機会を与えて下さった皆さん、本当にありがとうございました。